

どの子も分けない

インクルーシブな 遊び場とは？



講師 嶋村仁志 さん (一般社団法人TOKYO PLAY 代表)

山口県にもインクルーシブ公園が増えてきました。

インクルーシブ公園は、年齢や国籍、障がいの有無に関係なく、誰もが共に遊べる公園として、今、注目を集めています。

そこには、障がいのある子もない子も楽しく遊べるように「ユニバーサルデザイン」の遊具が設置されていますが、「すべての子どもが歓迎され、選択肢がある」という「インクルーシブ」のコンセプトを実現するにはどうすればよいでしょうか。

講師の嶋村仁志さんは、すべての子どもが豊かに遊べる社会を目指して活動をしています。

多様な人や新しい出会いの中で、「誰にとっても居心地のよいインクルーシブな遊び場」「子どもたちが豊かに遊べる環境」のあり方をいっしょに考えてみましょう。

遊ぶことは
すべての子どもの
「いのちのしくみ」。
たいせつな遊び場について
ともに考えましょう。

2025. 11月30日 日 13:30~16:30
受付13:00~

山口市市民会館 小ホール 〒753-0074 山口市中央2丁目5-1

定員 50名

参加費 一般1000円 大学生500円

※小学生以下のお子さんの入場についてはご相談ください。

参加申込み 電話または右下の二次元コードからお申し込みください。

受付開始=9月16日(火)10時~

※お申し込み後 1週間以内に受付完了の連絡をいたします。

託児サービス 子どもひとりにつき500円。先着5名まで
11/21(金)までに要予約



嶋村仁志 Shimamura Hitoshi

1968年、東京都生まれ。1995年、英国 Leeds Metropolitan大学ヘルス&ソーシャルケア学部プレイワーク学科高等教育課程修了。1996年より冒険遊び場のプレーリーダー(プレイワーカー)として子どもの遊びに関わり、国内外で冒険遊び場の立ち上げや子どもの遊びに関わる人の研修や啓発に携わってきた。2010年にTOKYO PLAYを設立(2016年に法人化)し、代表を務める。一男一女の父。

- ・IPA(子どもの遊ぶ権利のための国際協会)東アジア副代表。
- ・一般社団法人日本プレイワーク協会代表
- ・大妻女子大学非常勤講師



ご参加をお待ちしています!

- 障がいのある無しに関わらず、子どもの保護者
- 子どもの遊び・遊び場に関心がある人
- 保育・教育の場で活かしたい人
- まちづくり・地域づくりに活かしたい行政・団体



↑子どもたちが「やりたい」をみつめる遊び場、「いちにちプレーパーク」のようす。

主催 「プレーパークを山口に」実行委員会・認定NPO法人こどもステーション山口

「プレーパークを山口に」実行委員会は山口市に常設のプレーパークをつくることを目指して2019年から活動を始め、毎月1回市内の公園や神社の境内で「いちにちプレーパーク」を開催しています。実行委員会の母体はこどもステーション山口です。

後援 山口市

問合せ 認定NPO法人こどもステーション山口 事務局

〒753-0047 山口市道場門前2-4-20 open 火~金10:00~17:00 TEL 083-925-1486



※この活動では、子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。提出された個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。